



## IHE-J 臨床検査部門

### — 検査とIHE —

JAHIS IHE - J (LIS) 検討WG 委員  
岡崎市民病院 情報管理室  
山田 修

*Okazaki City Hospital*

## 臨床検査部門—これまでの概略—

---

- 02年 IHE - J (LIS) 検討WGがスタート
- 03年 欧州でも組織化(初会合)  
日本より「統合プロファイル」を提示。  
アクターとトランザクションを検討し定義した。  
適用標準に「HL7」を決定。  
LSWF ver1.0を最終決議。
- 04年 日本国内適用のLSWFフレームワークを完成。  
Year2 で扱う追加プロファイル案を提案、採択。  
LDA素案を審議・修正。
- 05年 LDAテクニカルフレームワーク完成。  
パブリックコメント募集。

*Okazaki City Hospital*

# 臨床検査テクニカルフレームワーク

## Laboratory Scheduled Workflow (LSWF)

通常の検体検査運用フロー

## Laboratory Information Reconciliation (LIR)

### 患者情報整合性

患者情報が不明の検体検査、及び患者情報の更新に関するワークフロー

## Laboratory Code Set Distribution (LCSD)

### 検査コード更新

施設内で共通に使用する検査群や検査コードの更新に関するワークフロー

## Laboratory Point Of Care Testing (LPOCT)

### POCT

臨床検査室により実施、管理されるベッドサイド検査(POCT)

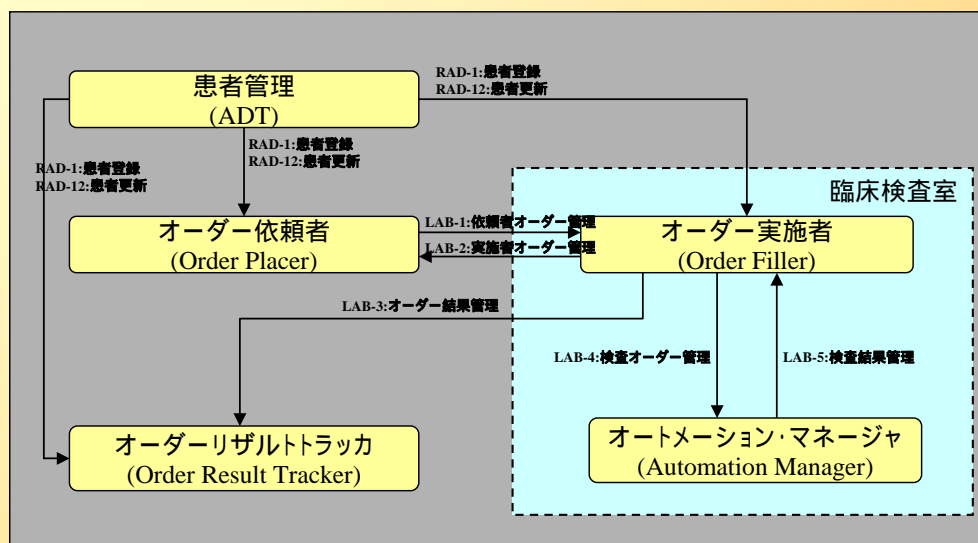
## Laboratory Device Automation (LDA)

### 分析機・前/後処理

臨床検査自動化システム(前処理、分析、後処理)の処理フロー

Okazaki City Hospital

# LSWF (Laboratory Scheduled Workflow)



Okazaki City Hospital

## 臨床検査が **IHE** に期待するもの

---

1. ホストとのスムーズな接続
2. 機器・システム間の親和性の向上
3. **標準化** の推進

Okazaki City Hospital

## 臨床検査が **IHE** に期待するもの

---

1. ホストとのスムーズな接続
  - ・ 欲しい情報、返したい情報
  - ・ 正しい情報と速やかなレスポンス
  - ・ 病院全体に対する負荷軽減

Okazaki City Hospital

## 臨床検査が **IHE** に期待するもの

---

### 2. 機器・システム間の親和性の向上

- ・ 依頼情報、結果情報の受け渡し
- ・ 機器入れ替えに伴う融通性
- ・ データに対する信頼性

Okazaki City Hospital

## 臨床検査が **IHE** に期待するもの

---

### 3. **標準化** の推進

- ・ 数字は似て非なるもの
- ・ 個別は「他にない」もの
- ・ **標準化は臨床検査の宿願(悲願?)**

Okazaki City Hospital

臨床検査技師が働く臨床検査室の  
生き残りのための道として



Okazaki City Hospital



ご静聴ありがとうございました。

Okazaki City Hospital